



2023年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月13日

上場会社名 プライム・ストラテジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5250 URL <https://www.prime-strategy.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 渡部 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 城塚 紘行 TEL 03 (6551) 2995
 四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第3四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第3四半期	653	22.2	222	11.8	200	1.8	139	7.6
2022年11月期第3四半期	534	—	198	—	197	—	129	—

(注) 包括利益 2023年11月期第3四半期 141百万円 (5.3%) 2022年11月期第3四半期 134百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第3四半期	42.85	40.03
2022年11月期第3四半期	45.58	—

- (注) 1. 2021年11月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年11月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 当社は、2022年9月15日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 2023年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2023年2月22日に東京証券取引所スタンダード市場へ上場したため、新規上場日から2023年11月期第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第3四半期	1,454	1,254	86.2
2022年11月期	729	333	45.8

(参考) 自己資本 2023年11月期第3四半期 1,254百万円 2022年11月期 333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年11月期	—	0.00	—	—	—
2023年11月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	920	19.4	358	20.9	335	15.0	232	17.8	70.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年11月期3Q	3,459,000株	2022年11月期	2,850,000株
② 期末自己株式数	2023年11月期3Q	31株	2022年11月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年11月期3Q	3,260,858株	2022年11月期3Q	2,850,000株

（注）当社は、2022年9月15日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国経済の2023年4～6月期の実質GDP成長率は、前期比+1.2%（前期比年率+4.8%）と3四半期連続のプラス成長となりました。内訳をみると、内需が同△0.6%と押し下げた一方で、外需が同+1.8%と全体を大きく押し上げた格好であります。また、今後の先行きとしては、外需の押し上げ要因となってきた半導体不足の緩和やインバウンドの回復余地が残っていることから、当面は外需主導のプラス成長が見込まれますが、欧米の景気減速懸念が重しとなり、外需の減速感が一層強まる局面が訪れることも想定しなければならない局面であります。このような状況の中、わが国経済は内需主導の成長をいかに実現するかが試されている状況であると認識しております。

当社グループを取り巻く国内ITサービス市場は、2023年は世界的なインフレーションや景気後退懸念といった先行きの不透明感の増大に伴い、ITサービス投資抑制の影響が懸念されていますが、半導体、部材不足による製品の調達遅延に伴うハードウェア関連サービス市場へのマイナス影響の段階的な解消に加え、デジタルビジネス化を図る国内企業のシステム刷新や新規システム構築の需要に支えられ、堅調な成長を継続するとみられています。（出所：IDC Japan株式会社 2023/4/4発表「国内ITサービス市場予測」）

次に、2023年の国内クラウド市場は、2022年と比較すると大幅な成長鈍化が見込まれています。クラウドマイグレーションに支えられ高い成長を遂げてきた国内クラウド市場リプレイスメント／効率化は、DX／データ駆動型ビジネスへの発展（クラウドジャーニーの発展）や規模が拡大したことによって、2024年以降、急速に前年比成長率が低下していくとみられています。ITサプライヤーは、目先の大きな需要である「クラウドマイグレーション」と、今後の大きな成長領域であるDX／データ駆動型ビジネスを連携させる必要があると言われております。（出所：IDC Japan株式会社 2023/6/27発表「国内クラウド市場予測」）

また、技術動向としては2022年11月30日にOpenAIにより発表されたChatGPTを始めとするAIのモデルの1つである大規模言語モデル（LLM）が注目され、第四次産業革命を迎えると言われております。その後、大規模言語モデルはオープンソース版や日本語に対応したものも発表され、多くの開発者や研究者が手軽にこの技術にアクセスできるようになり、イノベーションがさらに加速している状況であります。

このような経営環境のもと、当社グループは、超高速CMS実行環境「KUSANAGI」をはじめとしたサーバ高速化ソリューション「KUSANAGI Stack」でKUSANAGI Stack事業を展開し、一気通貫でWebサイトの保守・運用を行うKUSANAGIマネージドサービスの拡大を図るとともに、AI技術・ハイパーオートメーション技術のさらなる活用に向けての研究開発を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高653,081千円（前年同期比22.2%増）、営業利益222,131千円（前年同期比11.8%増）、経常利益200,833千円（前年同期比1.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益139,738千円（前年同期比7.6%増）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、KUSANAGI Stack事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,386,882千円となり、前連結会計年度末に比べ720,207千円増加いたしました。これは主に、新株発行等により現金及び預金が721,144千円増加したことによるものであります。固定資産は67,745千円となり、前連結会計年度末に比べ5,310千円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産が7,686千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は1,454,628千円となり、前連結会計年度末に比べ725,517千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は139,167千円となり、前連結会計年度末に比べ99,513千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が67,811千円減少したことによるものであります。固定負債は60,864千円となり、前連結会計年度末に比べ95,581千円減少いたしました。これは長期借入金金が95,581千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は200,031千円となり、前連結会計年度末に比べ195,094千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,254,596千円となり、前連結会計年度末に比べ920,612千円増加いたしました。これは主に、新株発行により資本金が389,394千円、資本剰余金が389,394千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は86.2%（前連結会計年度末は45.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月期の業績予想につきましては、2023年2月22日に開示の「東京証券取引所スタンダード市場への上場

に伴う当社決算情報等のお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	558,684	1,279,829
売掛金	77,192	73,936
仕掛品	396	38
前払費用	29,185	28,908
未収入金	1,059	—
その他	157	4,171
流動資産合計	666,675	1,386,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,811	1,811
減価償却累計額	△664	△800
建物及び構築物(純額)	1,147	1,011
工具、器具及び備品	7,377	7,130
減価償却累計額	△6,674	△6,588
工具、器具及び備品(純額)	703	541
有形固定資産合計	1,850	1,553
無形固定資産		
ソフトウェア	14,781	13,450
その他	17,118	16,371
無形固定資産合計	31,899	29,821
投資その他の資産		
長期前払費用	18,453	8,556
繰延税金資産	7,220	7,220
その他	3,010	20,593
投資その他の資産合計	28,683	36,370
固定資産合計	62,434	67,745
資産合計	729,110	1,454,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,675	21,789
1年内返済予定の長期借入金	54,844	32,359
未払費用	30,689	26,685
未払法人税等	79,984	12,173
契約負債	15,458	26,969
その他	36,029	19,191
流動負債合計	238,680	139,167
固定負債		
長期借入金	156,445	60,864
固定負債合計	156,445	60,864
負債合計	395,125	200,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,000	429,394
資本剰余金	134	389,529
利益剰余金	288,804	428,543
自己株式	—	△96
株主資本合計	328,938	1,247,370
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,045	7,226
その他の包括利益累計額合計	5,045	7,226
純資産合計	333,984	1,254,596
負債純資産合計	729,110	1,454,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
売上高	534,575	653,081
売上原価	152,938	220,072
売上総利益	381,637	433,009
販売費及び一般管理費	183,034	210,877
営業利益	198,602	222,131
営業外収益		
受取利息	2	8
受取配当金	0	0
為替差益	157	128
その他	29	—
営業外収益合計	188	136
営業外費用		
支払利息	946	888
上場関連費用	—	20,342
その他	575	203
営業外費用合計	1,521	21,435
経常利益	197,269	200,833
特別損失		
固定資産除却損	—	51
特別損失合計	—	51
税金等調整前四半期純利益	197,269	200,781
法人税等	67,361	61,042
四半期純利益	129,908	139,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,908	139,738

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	129,908	139,738
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,822	2,180
その他の包括利益合計	4,822	2,180
四半期包括利益	134,730	141,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,730	141,919

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、株式会社東京証券取引所により上場承認を受け、2023年2月22日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。この株式上場にあたり、2023年2月21日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行464,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ296,681千円増加しております。

また、2023年3月23日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出し）による新株式発行145,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ92,713千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が429,394千円、資本剰余金が389,529千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、この会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年12月1日 至 2022年8月31日）

当社グループは、「KUSANAGI Stack事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年12月1日 至 2023年8月31日）

当社グループは、「KUSANAGI Stack事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。